

# 2026年度事業計画書

自 2026年 4月 1日  
至 2027年 3月 31日

公益財団法人 社会貢献支援財団

## 2026年度事業計画

### I. 基本方針

社会の安寧と幸福のために尽くされ、顕著な功績をあげながら報われる機会の少ない方々を発掘し、その活動を表彰するとともに、受賞者の善行を周知するために表彰事業を継続実施する。

今年度も、夏と冬の2回の社会貢献者表彰式典を開催し、1回30件ずつ合計60件程の個人・団体の表彰を行う。いずれも社会貢献の功績を対象とし、表彰選考委員会の選考を経て決定する。

また、過去の受賞者において引き続き顕著な活動を継続しており、更に活動の拡大が期待される団体に対して、ひとしづく賞を授与する(総額上限2,000万円)。

ホームページ内の検索サイト「ひとしづく」やFacebook等のSNSを通じて、受賞者の活動を広く告知するなど、過去の受賞者の活動への後援を充実させる。

2026年度においても、基本財産の運用収入や自己資金収入のみで事業並びに関連諸活動の経費を賄うことは難しいところから、当年度も日本財団に助成金の交付を仰ぎ、活動の財政基盤の確保を図り健全な運営に努める。

### II. 事業の内容

#### 1. 社会貢献者の表彰

推薦を受けた社会貢献者表彰候補者について表彰選考委員会で審議し、その選考結果に基づき、会長が受賞者を決定し、理事会へ報告する。

社会貢献者表彰式典を7月と11月に開催して、受賞者を表彰するとともに併せて祝賀会を実施する。また第65回(7月)、第66回(11月)いずれも前日に受賞者と当財団の懇談会を実施し、受賞者間の交流を促進する。

(1) 社会貢献者表彰式典（祝賀会併催）

1) 第65回表彰式典

- ① 開催時期 2026年7月27日（月）（予定）
- ② 実施場所 帝国ホテル 富士の間
- ③ 社会貢献者表彰 30件程
- ④ 贈呈品 表彰状、副賞、記念品
- ⑤ 参加者 約160名（受賞者を含む）
  - ・受賞者（付添同伴者を含む） 約120名
  - ・役員、財団関係者 約20名
  - ・業界団体・報道機関、その他 約20名
- ⑥ 受賞者懇談会の実施
  - ・開催時期 2026年7月26日（日）（表彰式典前日）
  - ・実施場所 帝国ホテル 富士の間
  - ・参加者 約130名（受賞者同伴者を含む）

2) 第66回表彰式典

- ① 開催時期 2026年11月30日（月）（予定）
- ② 実施場所 帝国ホテル 富士の間
- ③ 社会貢献者表彰 30件程
- ④ 贈呈品 表彰状、副賞、記念品
- ⑤ 参加者 約160名（受賞者を含む）
  - ・受賞者（付添同伴者を含む） 約120名
  - ・役員、財団関係者 約20名
  - ・業界団体・報道機関、その他 約20名
- ⑥ 受賞者懇談会の実施
  - ・開催時期 2026年11月29日（日）（表彰式典前日）
  - ・実施場所 帝国ホテル 富士の間
  - ・参加者 約130名（受賞者同伴者を含む）

(2) 記録集の製作

第65回、第66回の社会貢献者の記録集をそれぞれ作成し、関係各所へ配布する。

- ① 内容 受賞者の功績内容及び手記を中心に、表彰式典の実施内容、紹介等を取りまとめた「社会貢献者の記録」として作成する。

- ② 部 数 各200部（合計400部）
- ③ 配布時期 2027年3月
- ④ 配布先 受賞者等

(3) 受賞者の功績内容の周知

報道機関へのプレスリリース、財団ホームページへの受賞者決定に関する告知を行い、功績内容を周知するとともにパブリシティ活動を行なう。

実施時期：受賞者決定以降随時

(4) 2027年度開催予定、第67回、第68回表彰の候補者の推薦依頼

地方自治体等に対し募集要項を郵送。また、当財団ホームページやメールマガジンでの告知等を通じてパブリシティ活動を行ない、広く候補者の推薦を募る。（推薦募集期間：2026年8月1日～10月31日）

(5) 受賞者訪問

過去を含めて受賞者の活動拠点を会長が訪問し、ボランティアの方々や受益者を含めて交流を行い、その模様を式典及びホームページで紹介する。

(6) 受賞者研修会の開催

これまでの受賞者の中で、同じ地域で活動するまたは、類似の活動を行う個人・団体2～3グループで意見や情報の交換を目的とした研修会を開催し、情報の共有や活動上の問題解決に向けての交流の場を提供する。

2. ひとしづく賞

社会貢献者表彰を受賞後、顕著な活動を継続している受賞者を対象に、メールマガジンに登録していることなどを条件に候補者を募集。事務局で受賞者を選出後、選考委員会の承認を経て受賞者を決定する。決定後の結果は日本財団へ報告する。

3. 映画祭の開催

社会貢献活動の支援及び普及と、受賞者への後援を目的に、受賞者または受賞団体が制作または関係する映画の上映会を開催する。

### Ⅲ. 管 理 業 務

#### 1. 会議の開催

財団の運営及び表彰事業を推進する為、理事会、評議員会、資産運用アドバイザリー委員会及び選考委員会を開催する。

##### (1) 理 事 会

###### 1) 2026月5月

① 2025年度事業報告書及び決算報告書の承認に関する件

② 第21回評議員会開催招集について

報告) ・ 2026年度社会貢献者表彰受賞者について

・ 2027年度社会貢献者表彰推薦募集について

###### 2) 2026年9月下旬

① 財団に対する2027年度助成金の交付申請について

② 2027年度社会貢献者表彰の選考に関する、表彰選考委員会への諮問の件

③ 役員賠償責任保険の更新について

報告) ・ 会長及び専務理事の業務について

・ 第66回 社会貢献者表彰 受賞者の決定について

###### 3) 2027年3月下旬

①2027年度事業計画書及び収支予算書の承認について

②2027年度の資産運用方針に関する件

報告) ・ 会長及び専務理事の業務について

##### (2) 評議員会

###### 2026年6月下旬

2025年度決算報告書及び事業報告書の承認について

第5期監事の選任（重任含む）

報告) ・ 2026年度事業計画及び予算計画書について

・ 2026年度（第65・66回）社会貢献者表彰式典の開催について

##### (3) 評議員選任委員会

###### 2026年4月

第5期評議員の選任

(4) 選考委員会

2027年1月中旬

2027年度（第67・68回）社会貢献者表彰候補者の審議と受賞者の選考及び  
会長へ答申決定。

2026年度のひとしづく賞の承認（6月）

(5) 資産運用アドバイザー委員会

2027年2月初旬

次年度運用方針について

2. 財産の管理

(1) 基本財産及び普通預金

基本財産は、定款に基づき適正な維持及び管理に努める。

本年度も低金利が続くことが予測される中で、安全性を重視し、かつ効果  
的な運用を図る。

当該年度の収益・費用の概要は以下のとおりである。

[一般正味財産増減の部]

経常収益計	¥316,960,900
経常費用計	¥317,460,900
当期経常増減額	△¥500,000